

○１９番 村上瑞季君

中京中学校３年、村上瑞季です。私は、フードロスの削減について、質問します。近年、フードロスについての問題が多く、食べられる物が捨てられている現状があります。給食の残食がないように取り組んでいることなど、現在の行橋市が行っている政策を知りたいです。

○前半議長 淵上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

村上瑞季議員の御質問にお答えいたします。はじめに、防災食育センターでは、子どもたちの健康や発達のため欠かせない食事として、おいしさと安全を第一に考え、献立を作成しています。給食の残食を少なくする取り組みとしては、給食で出てしまう食べ残しをセンターで日々学校ごとに計算し、実態の把握に努め、残食が多かった献立の組み合わせや味付け、量などの工夫・改善を図り、おいしく食べてもらえる給食になるように努めております。

また、防災食育センターの食育に関する活動としては、小学校３年生を対象とした食育授業、それから給食指導のねらいや人気メニューのレシピなど、食の情報を保護者と教職員へ配信する等の取り組みや、普段見ることが出来ない学校給食の調理の様子や調理員の思いなどを、分かりやすく紹介した食育動画の配信を通じた取り組みを今年度から取り組んでおります。

給食の残食が出てしまう理由は、その日の体調不良や苦手なものがあるからなど様々だと思いますが、児童・生徒の皆さんが楽しみながら食べてもらえるよう、成長に必要な栄養価を考えて献立を組み立てていますので、できるだけ残さず食べていただきたいと思います。以上です。

○前半議長 淵上愛衣君

村上議員。

○１９番 村上瑞季君

御答弁、ありがとうございます。現在、行橋市で行っている政策が分かりました。しかしながら、いまだにフードロスの問題が根強く残っています。

そこで、少しでもフードロスを軽減するために、学校などでフードロスについて学び、食べ残しを肥料として使用する対策等を行う学習を、総合的な学習の時間に取り入れてはいかがでしょうか。フードロスについての問題を身近に考えることができ、実際に体験することができると思います。そして、家庭でもこの政策を生かす人が多くなるのではないかと考えました。執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

総合的な学習についての取り組みということですが、総合的な学習でフードロスをテーマに学習することは、生徒が食品ロス問題の現状を理解し、解決策を考え、実践する態度を育む上で非常に有効と考えております。学校給食の残食調査や地域への取材、グループワークなどを通して、生徒は主体的に学びを深めることができ、生涯にわたり生かすことができると教育委員会でも考えております。

総合的な学習の時間で学習を行うことについてですが、各学校は、地域や自校の特色に応じて総合的な学習の時間のカリキュラムを作成・実施しております。各学校がテーマを決めて実施していますので、教育委員会としては、中京中学校にこのことをお伝えしますので、村上議員も中京中学校の先生に御相談されてみてください。

また、教育委員会としては、先ほど紹介しました食育動画の中で、フードロスについての動画を作成できないかという点については、検討してまいりたいと思っております。

以上であります。

○前半議長 渕上愛衣君

市長。

○市長 工藤政宏君

村上議員の御質問にお答えします。いま教育長がお答えしたとおり、総合学習の時間などにつきましては、今お答えしたとおりなのですが、市全体としましても、御存知かもしれませんが、ごみ減量プロジェクトといったものをさせていただいております。

そういった中でですね、ゴミを堆肥化していく生ゴミ処理機、これがですね電動のものもあります。こういったものに補助金を以前よりももう少し多くしてですね、そして実際により多くの市民の皆様方に生ゴミ処理機を御購入いただいたりもしております。

こういったかたちで市としても、広報ゆくはしを見ていただければと思いますが、いかにゴミを減らしていくか、いま行橋市が、どれくらいゴミが減ってきているのかとか、いろんな課題といったものの情報発信をしております。

ゴミ問題の中のフードロスも大変重要なテーマとして時々取りあげておりますので、ぜひこちらのほうもご覧いただければと思います。以上です。

○前半議長 渕上愛衣君

村上議員。

○19番 村上瑞季君

ご答弁、ありがとうございます。これからは自分の出来る範囲でも問題の軽減ができ

るように努力していこうと思います。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。